

動物公園にシマウマとヤマアラシ展示場が完成し平原ゾーンがフルオープン！ ～市内の商業施設等と連携したプロモーション活動を実施します～

千葉市動物公園では、昨年夏にオープンしたチーターとハイエナの展示場に続き、新たにグラントシマウマとアフリカタテガミヤマアラシの展示場が完成し平原ゾーンがフルオープンしますのでお知らせします。

また、市内の商業施設等と連携したプロモーション活動を実施しますので、併せてお知らせします。

1 平原ゾーンフルオープン日

令和3年5月27日（木）

2 シマウマ・ヤマアラシ展示場の概要及び特徴

(1) 事業費

約3億円

(2) グラントシマウマ展示場

- ・展示個体 3頭
- ・放飼場面積 1,116㎡
- ・特徴 ライオン展示場を背景としたアフリカの平原をイメージしたパノラマ展示。岩山の上のライオンをバックに、シマウマが観察できるビューポイントがあります。

(3) アフリカタテガミヤマアラシ展示場

- ・展示個体 2頭
- ・放飼場面積 42㎡
- ・特徴 ガラス展示となっており小さなお子さんの目線高で、ヤマアラシの生態を間近で観察することができます。



グラントシマウマ展示場



アフリカタテガミヤマアラシ展示場

3 フルオープンPRプロモーション活動

平原ゾーンフルオープンをPRするため、市内の商業施設等と連携したプロモーション活動を実施します。

(1) そごう千葉店×千葉市動物公園コラボイベント

ア 日時 4月22日(木)～5月5日(祝)
10:00～20:00 (最終日は17:00まで)

イ 会場 そごう千葉店 本館6階催事場ほか

ウ 主な内容

(ア) むいぐるみ動物園「CHIBA ZOO (ちばズー)」

フルオープンする平原ゾーンの動物(むいぐるみ)が登場します。写真映えるカラフルな空間をお楽しみください。

(イ) 動物公園「平原ゾーンライブ中継」

餌付けの様子などをお届けします。

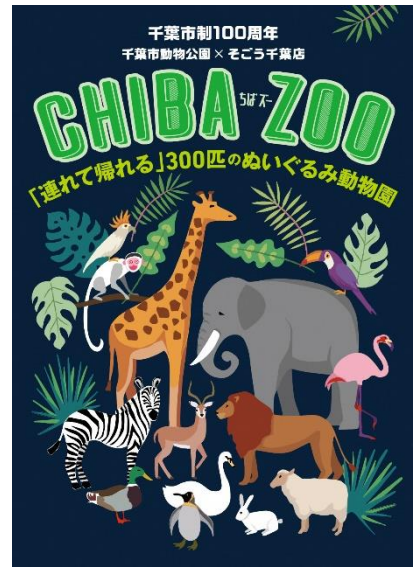
日時：4月29日(祝)、5月1日(土)

各日11:00、15:00の2回

(ウ) 1日アルパカ店長

アルパカの「ミッティー」がそごう千葉店の1日店長に！撮影会も行います。

日時：4月22日(木) 13:00～17:00 (動物は随時休憩します)



(2) ペリエ海浜幕張×千葉都市モノレール×千葉市動物公園コラボ「えきなかどうぶつえん」

この日はJR海浜幕張駅が動物公園色に染まります！多くの方が楽しめる催しを開催します。

ア 日時 4月24日(土) 10:00～15:00

イ 会場 JR海浜幕張駅改札外コンコース

ウ 主な内容

(ア) 動物公園「平原ゾーンライブ中継」

普段は見られない動物舎の裏側をご紹介します。

11:00、13:00、14:30の3回

(イ) 1日アルパカ駅長 with 着ぐるみ風太

アルパカの「ミッティー」がJR海浜幕張駅の1日駅長に！

撮影会も行います。着ぐるみ「風太」も遊びに来ます。

10:00、12:00、14:00の3回

(動物は随時休憩します)

(ウ) スタンプラリー

期間中下記設置場所にある3種類のデザインのスタンプを専用用紙に集めると先着で総勢300名にプレゼントを差し上げます。

期間：4月24日(土)～5月23日(日)

スタンプ設置場所：(Aデザイン) JR海浜幕張駅、JR検見川浜駅、JR稲毛海岸駅 各改札

(Bデザイン) 千葉都市モノレール千葉みなと駅改札

(Cデザイン) 動物公園内動物科学館内総合案内

景品引き換え場所：JR海浜幕張駅、JR検見川浜駅、JR稲毛海岸駅 各改札



《参考》

1 グラントシマウマについて

- (1) 保護状況
レッドリスト LC (低危険種)
- (2) 特徴
体長 200～240 cm、尾長 45～60 cm、体重 230～270 kg、
体高 110～130 cm。奇蹄目ウマ科。
シマウマの仲間には、ヤマシマウマ、グレビーシマウマ、サバンナシマウマの3種がいます。グラントシマウマはサバンナシマウマの1亜種で、シマウマの中では1番小柄で黒い縞模様が太く、縞の数も少ないです。シマウマはウマよりロバに近い動物です。
日本の動物園で飼育されているシマウマは、ほとんどがこの種です。
- (3) 生態
アフリカのサバンナで、雄と複数の雌、その子どもからなる家族単位の群れで生活し、時には群れ同士が集まり大きな集団になることもあります。イネ科などの草や木の芽を好んで食べます。
- (4) 分布
ケニア等のアフリカ東部から南部の草原、サバンナ地帯
- (5) 国内飼育頭数
国内20施設 雄52頭、雌71頭、不明2頭 計125頭
※日本動物園水族館協会資料 (令和3年3月現在)

2 アフリカタテガミヤマアラシについて

- (1) 保護状況
レッドリスト LC (低危険種)
- (2) 特徴
体長 60～90 cm、尾長 8～15 cm、体重 15～27 kg。げっ歯目ヤマアラシ科。
額から体にかけて、タテガミのように長くて硬いトゲのような毛で覆われています。何かに驚いたり、興奮したり、外敵を威嚇する時はこの針毛を逆立てて身を守ります。
- (3) 生態
昼間は巣穴の中で過ごし、夜になると活動する夜行性の動物です。主に草や木の根、樹皮、球根、果実などの植物質のものを好みますが、昆虫なども食べます。噛む力が強く、木の葉などは枝ごと食べてしまうほか、動物の骨をかじったりもします。げっ歯目ヤマアラシ科に属するネズミの仲間です。
- (4) 分布
アフリカや地中海沿岸部の森林 (密林) や草原 (サバンナ) など
- (5) 国内飼育頭数
国内29施設 雄37頭、雌41頭 計78頭
※日本動物園水族館協会資料 (令和3年3月現在)

3 平原ゾーンについて

猛獣を間近で観察でき、ライオンやチーター等とのパノラマ展示でアフリカの平原を再現することをコンセプトに、平成27年度から整備を開始しました。第一弾として平成28年4月にライオン展示場がオープンし、続いて令和2年7月には、チーター・ハイエナ展示場がオープンしました。そして、平原ゾーン最後の整備としてシマウマ・ヤマアラシ展示場が令和3年3月に完成し、フルオープンとなりました。

- (1) 整備時期
平成27年度～令和2年度の6か年
- (2) 総面積
約12,400㎡
- (3) 総事業費
約15億円

4 「千葉市動物公園リスタート構想」について

千葉市動物公園は、開園後4半世紀以上が経過し、施設の老朽化対応や展示手法等の刷新が喫緊の課題となっていたことから、園全体を見直すことで、賑わいを取り戻し来園者に満足いただけるような施設として再生するため、平成26年3月に開園50周年に向けた長期構想として「リスタート構想」を策定し、取組みを進めてきました。今回の平原ゾーンフルオープンにより、4つのゾーンのうち2つが完成し計画が一区切りしました。今後は、残りの2つのゾーン (森林、湿原) の再生に向けて取り組んでいきます。

【参考 URL】 <https://www.city.chiba.jp/toshi/koenryokuchi/dobutsukoen/restartkoso.html>